

第19回国立大学附属病院医療安全管理協議会総会

広島大学病院における 持参薬管理の課題

広島大学病院医療安全管理部
GRM

広島大学病院の概要



診療科:32(医科)・12(歯科)

病床数: 746床

職員数:2,416名

(うち薬剤師51名うち契約職員28名)

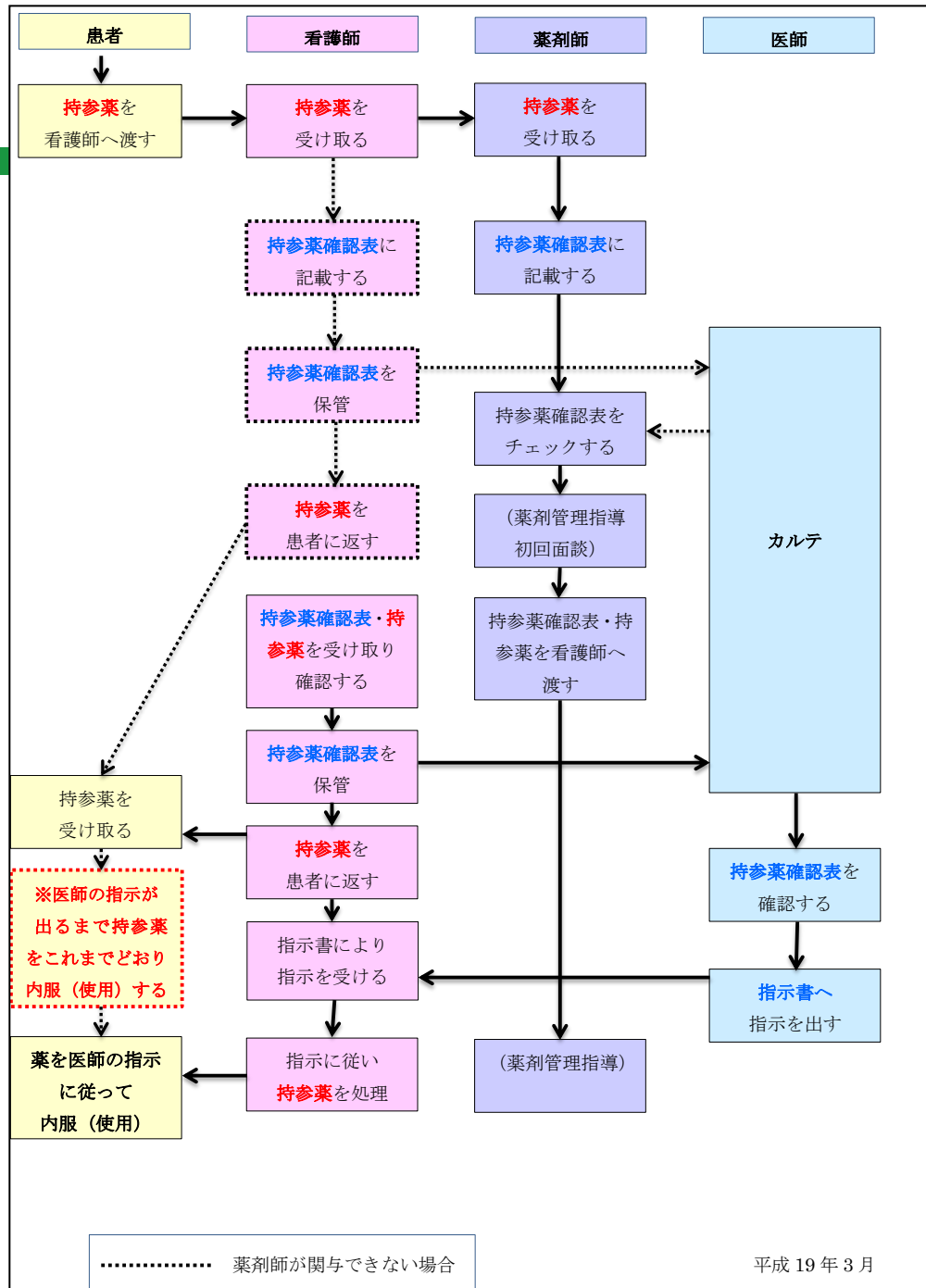
平均在院日数:13.5日(4月～8月間)

平均稼働率:95.7%(4月～8月間)

1日平均外来患者数:約2000人

平成23年度6月1日現在

持参薬管理 に関する 取り扱い基本 フロー



1. 持参薬取り扱いについて

- 持参薬は、基本的に持参薬フローチャートの流れに従い管理を行う。
 - ① **原則として、看護師は、持参薬がある場合は16:00までに薬剤師へ連絡**
 - ② **薬剤師は、持参薬を確認し持参薬確認表に記入**
 - ③ 薬剤師が持参薬に関与できない場合（土・日・祝日・16:00以降の緊急入院など）は、看護師が確認表へ記入し、後で薬剤師が確認表のチェック
 - ④ 薬剤師、看護師、医師は、確認表の記入・確認を行った場合は、サイン欄へ日付入りサインを行う。

持参薬インシデントが占める割合

	H20年度	H21年度	H22年度
インシデント総数	4,228	4,161	4,101
全体のインシデント中内服薬の 占める割合(実数)	23.5% (995)	25.7% (1069)	23.2% (952)
内服薬インシデント中持参薬の 占める割合(実数)	7.4% (74)	8.5% (91)	12.0% (115)

* 内服薬インシデントの持参薬の占める割合は、増加傾向にある

過去3年間上位を占める、持参薬関連の
インシデントの内容は、

- ・過剰投与
- ・過少投与
- ・患者の自己管理内服薬

そのインシデントの発生原因の上位は、

- ・重複処方の確認不履行
- ・誤転記・誤記載

持参薬確認の現状と問題点

時間外、休日は看護師が持参薬確認表を記入し、医師が確認。薬剤師は翌勤務時に事後確認を行う。薬学的な問題発見が遅れている。

電子カルテに持参薬確認システムが連動しておらず、**手書きで持参薬確認表を運用**している。そのため、持参薬と当院処方薬とのシステム的な相互作用のチェックが行えていない。病棟薬剤師はチェックをしているが、タイムリーではない。

複数病棟を薬剤師一人が担当しているため、持参薬の薬剤師間のダブルチェックができていない。

- 病棟における薬剤師の業務拡大
- 持参薬管理システムの導入